

事業所名 にじいろクレヨン（児童発達支援）

公表日 令和 8 年 3 月 11 日

利用児童数 19名

回答数 17名

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--|---|----|---------------|-----|-------|------------|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 14 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 10 | 1 | 2 | 4 | 職員の数がわからない | 契約時の重要事項説明書をもとにご説明しておりますが、日々の体制がより明確にわかるようにスタッフ一覧を提示するなどの対応を検討してまいります |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 13 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 14 | 2 | | 1 | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 14 | 1 | 1 | 1 | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 16 | 1 | | | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 15 | 1 | 1 | | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 15 | | 1 | 1 | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 16 | 1 | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 16 | | 1 | | | |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 5 | 5 | 4 | 3 | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 17 | | | | | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 16 | 1 | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 12 | 2 | 2 | 1 | | |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 16 | | 1 | | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 17 | | | | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 15 | 1 | 1 | | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 5 | 7 | 1 | 4 | | |
| | 19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 15 | 1 | 1 | | | |
| 20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 15 | 1 | 1 | | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|---|
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 12 | 2 | 1 | 2 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 16 | 1 | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 9 | 2 | 1 | 5 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 6 | 1 | 1 | 9 | | 年2回の訓練を実施しております。契約時やSNS等でも報告はしておりますが今後はより可視化に努めてまいります |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 10 | 2 | | 5 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 14 | 1 | | 2 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 15 | 2 | | | | 今後もお子様一人ひとりの特性に寄り添い、笑顔で過ごせる環境作りを徹底いたします。小さな変化も見逃さず、常に安心感を持って通所いただけるよう努めてまいります。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 10 | 6 | 1 | | | 今後もお子様一人ひとりの興味や関心に寄り添ったプログラムを提供し、「楽しい」「また来たい」と思える環境作りを努めます。更なる充実した支援を追求してまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 15 | 1 | 1 | | 保育園の先生との情報交換の場があるのかわからない。保育園での活動の様子を見ていただき、今の状況や支援方法のアドバイスが欲しい | 1年に1回程度の園訪問を行っている方もいらっしゃいます。また、送迎時などにも情報共有をさせていただいている状況です。しかし連携について保護者様へ十分に伝わり切っていないという課題を認識しましたので今後は園訪問後の報告を連絡帳や面談などを通してより具体的に報告していきます |

| | |
|------|----------------------|
| 事業所名 | にじいろクレヨン（放課後等デイサービス） |
|------|----------------------|

公表日 令和 8 年 3 月 11 日

利用児童数 12名

回答数 10名

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------|---|----|---------------|-----|-------|---|------------|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 9 | | 1 | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 9 | 1 | | | | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 8 | | 1 | 1 | 雰囲気がお家なのでとても暖かく感じます。通所のたびに細かく見ていただき頭が下がります。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 9 | 1 | | | | |
| 適切 な支 援の 提 供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 9 | | 1 | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 9 | 1 | | | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 9 | | 1 | | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 9 | | 1 | | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 9 | 1 | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 9 | | 1 | | | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。 | 1 | 1 | 2 | 5 | 事業所を利用している子と交流できているので十分です | |
| 保 護 者 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 10 | | | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 9 | 1 | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 12 | 2 | 2 | 1 | | |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 7 | 1 | | 2 | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 9 | | 1 | | | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|---|---|
| への説明等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 9 | 1 | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 3 | 2 | 1 | 4 | 今後は、保護者様同士が情報交換できる茶話会の開催や、きょうだいとも一緒に楽しめるイベントの企画など、ご家族全体を支える取り組みを少しずつ検討してまいります。皆様が孤立せず、横のつながりを持てるような場作りを模索してまいります。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 9 | | 1 | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 9 | 1 | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 9 | | 1 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 9 | 1 | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 6 | 2 | | 2 | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 5 | | 1 | 4 | 年2回の定期訓練をSNSや連絡帳で共有し、安全意識を高めています。今後も全利用者の参加を目指し、災害時に迅速な避難ができる実践的な訓練を継続してまいります。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 8 | 2 | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 9 | | | 1 | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 9 | 1 | | | お子様が笑顔で「明日も行きたい」と思える環境作りは、支援の原点です。今後も一人ひとりの個性に寄り添い、深い信頼関係と安心感の中で成長を支えてまいります。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 9 | | 1 | | にじいろのある日は朝から元気です。とても楽しみにしていて友人とも気が合う様子が聞いてうれしくなります。「にじいろの日は朝から元気」「友人と気が合う」といったお声は、職員一同の大きな励みです。今後も一人ひとりが自分らしく、笑顔で輝ける居場所作りに努めてまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 9 | | 1 | | 皆様の「満足」というお言葉は、職員一同の最大の励みです。今後もお子様とご家族に寄り添い、質の高い支援と安心できる居場所作りに全力を尽くしてまいります。 |

| 事業所名 | | にじいろクレヨン（放課後等デイサービス） | | | | 公表日 | 令和 8 年 3 月 11 日 |
|----------|---|----------------------|-----|---------|-----------------------|-----|-----------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | | | | | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | | | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 3 | 1 | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | | | 利用者が帰宅後毎日清掃及び消毒を行っている | | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | | | | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 5 | | | | | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | | | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | | | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 5 | | 第三者委員会を設けておりません。 | | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | | | | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 5 | | | | | |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | | | | | |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | | | | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | | | | | |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | | | | | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | | | | | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | | | | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|----------------|-----------|
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | 半年に1回は行っている | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 5 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 1 | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 5 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | 1 | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 3 | 2 | | まだ卒業生がいない |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 4 | 1 | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。 | | 5 | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | | 5 | | |
| | 34 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 5 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | 相談があれば適宜対応している | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|-------------------------------|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 | | | |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 5 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | | | 年に2回は行っている |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 5 | | | 年に2回は行っている |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 5 | | | 契約時に確認を行い服薬がある場合には書面にて確認をしている |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 2 | 3 | | 契約時に確認を行っている。現在は指示書がある利用者はいない |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | 1 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | 1 | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5 | | | | |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | にじいろクレヨン（児童発達支援） | | | | 公表日 | 令和 8 年 3 月 11 日 | |
|----------|---|------------------|-----|---------|---|----------------------------|-----------------|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | | | | | | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | | | | | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 2 | 3 | | スケジュールを絵カードで提示している。 部屋も視覚化して提示している | 今後バリアフリー化も検討する必要性があると考えている | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | | | 利用者が帰宅後毎日清掃及び消毒を行っている | | | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | | | | | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 5 | | | | | | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | | | | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | | | | | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 2 | | | | | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | | | 外部研修には代表者が参加し伝達研修を行っている。また、内部研修は月に一回行っている | | | |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | | | | | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 5 | | | | | | |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | | | | | | |
| | 14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | | | | | | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | 1 | | | | | |
| | 16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | | | | | | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | | | | | | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | | | | | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | | | | | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 1 | | 前日の終礼時に確認し、朝も確認している | | | |
| | 21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | | | 毎日終礼を行い共有している | | | |
| | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | | | | | | |
| | 23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | | | | | |
| 関係 | 24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | | | | | | |
| | 25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | | | | | | |
| | 26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | 1 | | | | | |
| | 27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | 1 | | | | | |
| | (28～30は、センターのみ回答) | | | | | | | |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|---------------------|---|--|
| 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 28 | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | | | 外部研修があり参加している | |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。 | 4 | 1 | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 4 | 併用している利用者が多いので各園で交流は行っているためにじいろクレヨンとしては行っていない | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | 連絡帳や送迎時に行っている | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | | | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 5 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 | | 茶話会等を検討している | |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | | SNSや通信を通し発信している | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 5 | | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | | 年に2回は行っている | |
| | 46 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 5 | | 年に2回は行っている | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 3 | 2 | | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | 1 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | 1 | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | | 研修を受け内部でも行っている | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 5 | | 説明了承を得ており、計画書に記載してる | | |